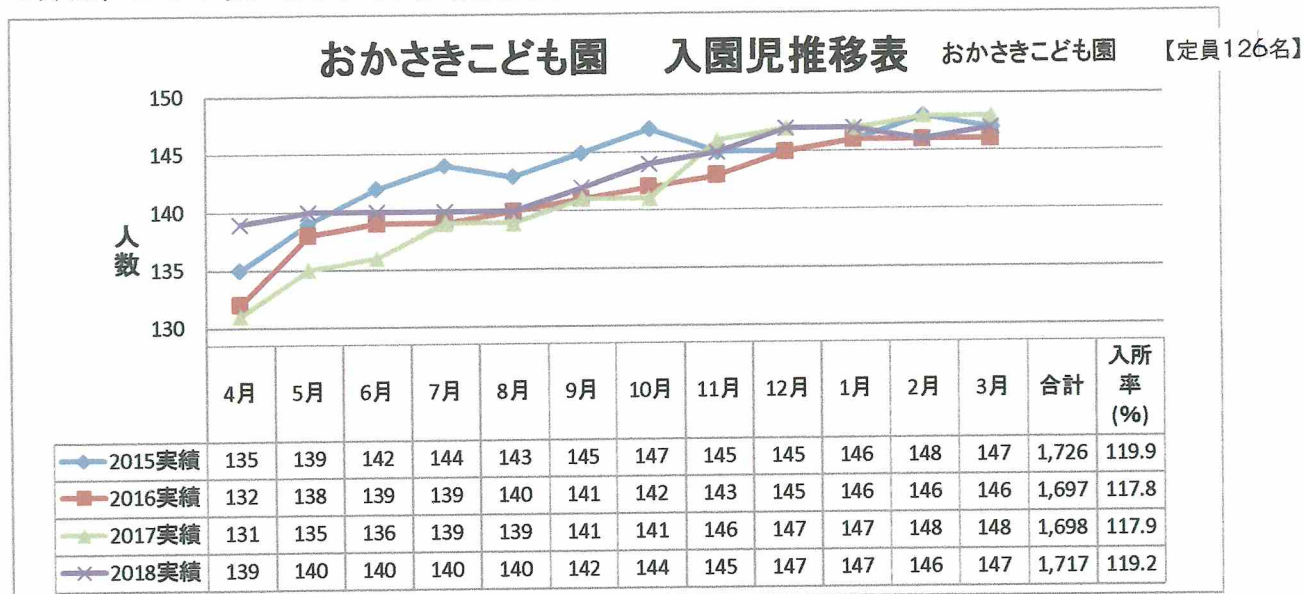
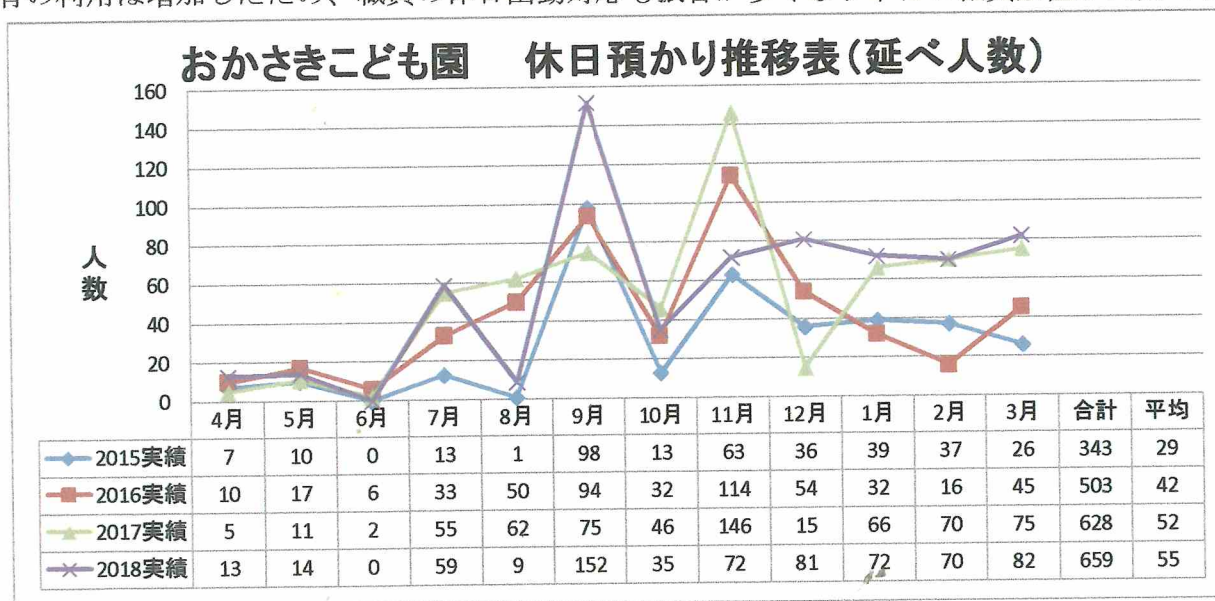


平成30年度 おかさきこども園 事業報告

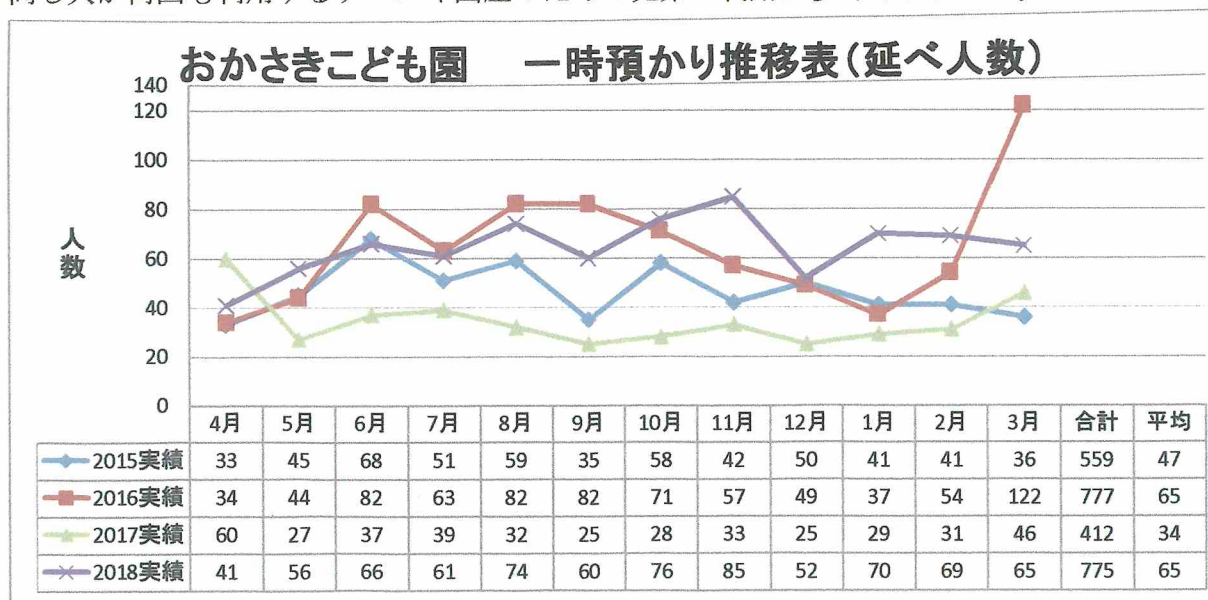
こども・子育て支援制度が施行され3年、平成30年度4月幼保連携型認定こども園の申請許可がおりて「おかさきこども園」になり1年を終えました。1号認定児2名を迎え139名でスタートしました。3月は、147名になり、年間入所充足率119.2%でした。



休日保育の利用は増加したため、職員の休日出勤対応も振替が多くなり平日の職員配置が大変でした。



地域利用の一時預りは、昨年度に比べ、利用数は増加しています。特に1歳～2歳児の利用が多かったです。同じ人が何回も利用するケースや出産のための兄弟の利用が多くありました。



職員状況は、5月に3年目の職員が退職、その後募集をしましたが、就職に結びつかず正規保育教諭15人（1名休職）で配置基準ぎりぎりでした。そのため職員が急に休むと時間外対応等で職員配置を調節しました。職員確保の厳しさを実感しています。職員同士は、休憩やノンコンタクトの取り方等働き安い職場づくりに取り組みました。

◆平成30年度 職員状況

3月末	園長	主幹	保育士	栄養士	調理師	事務・業務	学童	
正規	1	2	16	1	2	1		23
非常勤			3		1		1	5
パート			7			1	5	13
合計	1	2	26	1	3	2	6	41

- ・正規職員 新規新人採用 3名 途中休職者 1名 平成30年度末退職 3名
- ・パート職員 放課後児童クラブ補助員1名退職

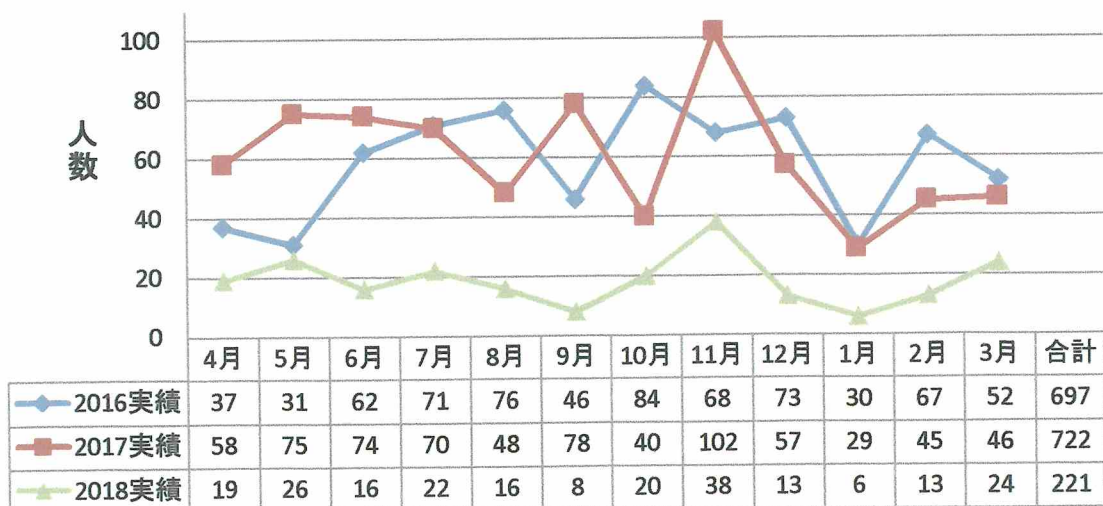
また、『地域における公益的な取り組み』に向けて、子ども貧困問題居場所づくりから「こども食堂」の実施、親子ふれあい遊びの「おひさま広場」の利用も同時開催をすることにより。地域への利用人数も増加しました。ですが、子育て支援のびよびよクラブの利用が激減したことで、継続的な利用と地域のニーズの模索と今後の課題が見えてきました。

平成30年度 こども食堂利用数推移表

※2017年4月・7月は子ども食堂の実施なし



平成30年度びよびよクラブ利用者数推移表



今年は、暑い夏で園庭に出ることを制限したり、台風24号の後の被害や停電で、2日間子どもの受け入れや水、おにぎりの配布、携帯充電サービス等を行い改めて施設でできる地域の助け合いが大事であることを考えました。被害による園舎等の修繕にも予算外の出費となりました。今後、防災マニュアル等の見直しをしながら園児の安全に努めていきたいと思います。

◆平成30年度 事故発生状況

重症事故報告（市県報告） 無し

＜受診件数＞ 9件 （0歳児・1名）（1歳児・3名）（3歳児・4名）（4歳児・1名）

＜状況＞（転倒1件 衝突3件 落下1件 挟まる1件 歯が欠ける1件 爪2件）
（遊具2件 園庭1件 テラス3件 室内3件）

＜症状＞ 打撲（頭部、目尻、顎） 切傷（口腔粘膜、小指、歯） 擦過傷 切り傷
・アレルギー食による誤食 3件

◆平成30年度 苦情受付状況 0件

＜重点目標＞

①保育の過程を大切に、保育の質を高め合う。＜養護と教育 指針の理解 記録の実践＞

- ・グループワーク中心に保育実践からのエピソードをいろいろな方向から保育を振り返り園内研修で継続できた。
- ・10の姿を意識し、保育マッピングを作成し記録に活かすことができた。
- ・記録をパソコン記述する職員が増えた。

②家庭連携と保育のつながりを見える化していく。＜おひさま広場の継続 保育の可視化＞

- ・おひさま広場で、地域の親子も一緒に触れ合いあそびの大切さを伝え、リピーターが増えた。
- ・ホームページでブログや、写真掲示で保育の見える化を行った。

③目標、計画を具体化して、実施評価のサイクルをつくり、研修を活かして組織づくりをする。

＜目標管理＞

- ・園外研修の学びを多く共有することができた。目標管理で、チューターと面談をすることで、振り返りができた。また、自己評価による園の評価を考える機会ができた。
- ・持ち帰りの仕事、休憩時間の取り方など職員間の考え方に差があり、研修員会中心となり、休憩の取り方、ノンコンタクト等の実施を行った。

④子育て活動の支援と地域のつながりをもつ。＜こども食堂実施 具体化＞

- ・子ども食堂の利用が増加した。月によってバラツキがあるが、友だちを誘って参加する姿が見られた。
- ・光湖苑との交流、地域のお祭に呼ばれ鼓隊演奏を行った。

- ◆登園降園のタッチパネルの導入で、延長保育の管理や登園降園がスムーズに行うことにつながった。
- ◆キャリアアップ研修（障害児保育2名 幼児教育3名 乳児保育2名 保健衛生安全対策2名 保護者支援 1名）が始まり、幼稚園免許更新も3名実施、学ぶ意識が高まってきているように思う。
- ◆こども園のプレート改修 テラスコンセントの修繕 園舎の壁、フェンスの修理 遊具の塗り替え
- ◆松溪会初任者研修4月 中堅研修1月に実施
- ◆ホームページの更新で、人材採用等につなげていく。

<法人の理念>

子どもは、一人ひとりがあらゆる可能性をもっている宝であり、わが国の将来を担う希望である。

私たちの目指す者は、その子ども一人ひとりに合った豊かな発達を促すことである。

<保育教育の理念>

『子どもの育ちを支える保育』

『子どもの育ちを支える保育』

<保育教育目標>

「笑顔で、楽しく元気で健康な子ども」 「ともだちと仲よく遊ぶ子ども」

「感じたり、考えたり、工夫したりして、やりぬく子ども」

法人として	重点目標	事業計画	事業報告
1. 保育サービスの質の向上 認定こども園教育保育要項に沿った保育・教育の実践 国、県市への方針等の環境に報じた園の経営 保護者への積極的な子育て支援 保育環境の整備 環境を守る取り組み タイムリーな情報発信	①保育の過程を大切に、保育の質を高め合う。	●養護と教育の共有、実践、行動 - エピソード記述のグループワークを継続させ、保育の過程を大切にしながら、一人ひとりの保育実践や子どもの記録の方法を検討する。 ●記録用紙の検討 3つの柱、10の姿を意識した記録用紙に変更、検討していく。 - 養護と教育を実践につなげる。 - 生活の環境、遊びの環境を考える。 - 子どもの姿を語り合い、保育の姿勢について振り返りを行う。 - 子どもの思いに耳を傾け、子どもに寄り添う保育、自分でやりたいという意欲とやりぬくを大切にする保育教育の実施。 - 保護者との関わりを学び、職員共有していく。	◆園内研時間をエピソードのグループ討議10の姿、養護と教育を照らし合わせ振り返ることができた。 ◆保育マッピングを作成保育の広がりを見せることができた。 - パソコンでの保育記録記入が増えた。 - こどもの姿がよく書けるようになってきた。 - 保護者と話すきっかけづくりができるようになった。 ◆「あたりまえを見直したら保育はもっとよくなる」の教材本を利用してグループワーク・乳児保育を考える機会ができ、継続していくこととなった。
	②家庭連携と保育のつながりを見える化していく。	●保護者への積極的な子育て支援 - 子どもの様子日記 - 保護者懇談会 - お誕生会の保育参加 - 行事参加のお手伝い - 父親への働きかけ・・・パパの会 - 気になる子どもの様子について保護者が相談する機会を設ける。 - 個人面談と就学への継続支援 ●保育環境の整備 - 挨拶をみんなで積極的に行う。 - 思いやり保育の環境を整える。 ●園庭芝生、木製遊具活用 - 花壇 畑の管理 ●HP ブログこどものエピソードを伝える	◆写真様子掲示 ◆気になる子のケース会議、個人面談、保護者への働きかけ、関係医療機関につながった。 ◆2人乗りのバギー購入異年齢の触れ合いが増えた。 ◆畑の管理 夏野菜の栽培 サツマイモほり たくさんの人との触れ合いが経験できた。 ◆こどもブログの更新

		・登園降園の管理 IT 化	◆ HP 委員会（市野と）積極的な話し合い、採用にもつなげられるように今後の検討課題としていく。 ◆ 登降園タッチパネルの導入 保護者管理スムーズになる。
2. 職員の確保・人材育成 働きやすい環境づくり 待遇の改善 計画的な研修 タイムリーな情報発信	③目標、計画を具体化して、研修を活かし、組織づくりをする。 ④子育て活動の支援と地域のつながりをもつ。	・合同就職説明会への参加 ●計画的な予定を考え定期的な会議、職員のローテーションを考える。 ●目標管理シートの活用 ・チューター制度を積極的に進めていく。 ●マニュアル、係の仕事の見直し ・防犯防災対策の再確認 ・市野与進こども園との情報交換 ●積極的な新人採用活動 ・新人職員からの情報交換 ●中堅リーダー、研修委員会が中心となり、園内研修を進める ・初任者研修（4月） ・中堅研修（1月） ●処遇改善 - 計画的なキャリアアップ研修	◆目標管理 チューターと話し合い相談ができる。 ◆初任者研修 4名 退職者1名あり 中堅研修 3名 ◆台風による停電他被害等で、今後マニュアル見直しを行う。 ◆幼稚園免許更新3名 ◆キャリアアップ研修 幼児・・・3名 乳児・・・2名 障害児・2名 安全衛生・2名 保護者支援・1名
3. 地域への貢献 地域貢献活動の充実 タイムリーな情報発信 環境を守る取り組み	※一時預り事業	●びよびよクラブの充実 ・栄養士等の専門的相談 - 離乳職教室（1月・2月） ※緊急等一時預り事業を通して子育て支援 ●地域交流 ・自治会いきいきサロン ・お年寄りとの継続交流 ・お祭など地域行事への鼓隊参加 ・蛍の放流・畑体験 ●おひさま広場でふれあいあそび、こどもの居場所づくり ●こども食堂 ボランティア活動	【びよびよ利用家庭数】 H 2 9 7 2 2人／年 H 3 0 2 2 1人／年 【一時預りの増加】 H 2 9 4 1 2人／年 H 3 0 7 7 5人／年 【こども食堂利用数】 H 2 9 5 2 8人／年 H 3 0 7 7 2人／年
4. 法人、事業基盤の強化 法人組織の強化 経営の把握と無駄の排除 経営状況を適切に把握し、中期事業計画を策定する。 （人員と設備備品の予算根拠の明確化とその実行管理）		●中長期計画の見直し ●節電 ●昨年の電気料より下げる工夫をする。 ●経営の把握（収入支出のバランス）しながら購入を考える。	◆電気代アップ ◆テラス、コンセント修繕 園舎外壁遊具修繕 ◆こども園のプレート改修工事